

自立活動学習指導案

1 単元名 「いろいろな気持ち ―自分の気持ちを伝えよう―

2 単元の目標

自分の気持ちを適切な表情や身振り、言い方で伝えることができる。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①自分と他者の気持ちのちがいを理解している。 ②相手に気持ちが伝わるような表情や身振り、言い方を理解している。 ③表情や身振り、言い方で自分の気持ちを伝えることができる。	①提示された状況から自分がどのような表情や気持ちになるのか考えることができる。 ②寸劇を見て、登場人物の気持ちを考えたり、改善方法を考えたりすることができる。	①自分の気持ちを表現しようとしている。 ②学んだことをクイズやロールプレイの活動の中で生かそうとしている。

4 指導観

(1) 単元観

本単元は、特別支援学校学習指導要領 小学部・中学部学習指導要領（平成29年4月告示）
第7章 自立活動 第2 内容

- | |
|---|
| 2 心理的な安定
（1）情緒の安定に関すること。
3 人間関係の形成
（2）他者の意図や感情の理解に関すること。
6 コミュニケーション
（1）コミュニケーションの基礎的能力に関すること。 |
|---|

を受けて設定した。

上記より、3の（2）では、自分と他者の気持ちのちがいを理解し、言葉や表情、身振りなどを用いて、自分の気持ちを伝えたり、それらを総合的に判断して相手の思いや感情を読み取って行動できるようにしたりする。

6の（1）では、表情や身振りをを用いて意思のやりとりが行えるよう、コミュニケーションの基礎的な能力を身に付けるようにする。他者とのやり取りや自分の気持ちが伝わる楽しさを感じられるようにしていくことを通して、2の（1）にある心理的な安定につなげていく。

以上の項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導内容を設定した。

(2) 児童観

4月から新しいグループとして学習を進めていく中で、教師や友達に慣れ始め、関わり合う姿が

少しずつ増え、安心して自分の意見を発したり、相手の意見を聞こうとしたりするようになってきた。

児童の共通の課題として、他者とのコミュニケーションが取りにくいということが挙げられる。自分の気持ちを相手に伝えることに消極的になってしまう児童や、相手がどのような気持ちになっているのか気付かずに一方的な関わりになってしまう児童がいる。

また、新型コロナウイルス感染症対策でのマスクの着用の影響により、自分の気持ちを表情で表すことや、他者の気持ちの読み取りがさらに難しくなっている。そこで、コミュニケーションの基礎的な部分である表情や身振り、言葉での気持ちの伝え方を改めて学習し、適切な表現方法を練習していく必要があると考えた。

(3) 教材観

本単元では、表情と気持ちを結びつけながら、気持ちを表す言葉のバリエーションを増やし、気持ち（表情）ポスターを作成する。その作成したポスターを使い、いろいろな場面で自分がどのような表情や気持ちになるのかを考え、グループの友達と比較する。自分の気持ちを表現するとともに、友達の気持ちを聞いて様々な気持ちがあることに気付く。

単元の後半では、自分の気持ちを適切に伝えられる方法として、表情や身振り、言い方について練習する。その上でクイズやロールプレイなどの実践的な活動を通して、相手の気持ちを読み取ることや自分の気持ちを適切に伝えることができるようにしていく。

また、動画での振り返りを行い、自分の伝え方を客観的に評価しながら、より良い伝え方に改善できるように工夫した。

5 年間指導計画における位置付け

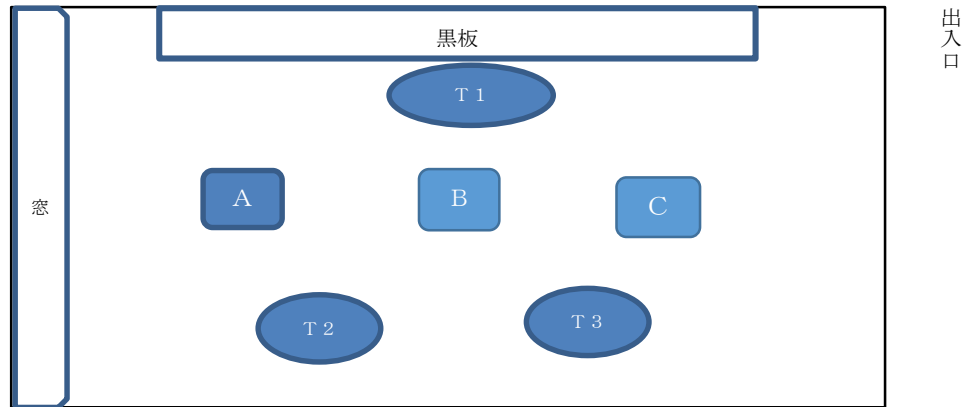
	単元名	時数（計 14 時間）
第 1 学期	いろいろな気持ちを知ろう・自分の気持ちを伝えよう	5 時間
第 2 学期	いろいろな場面で自分の気持ちを伝えよう	3 時間
	怒りや不安な気持ちの対処法	4 時間
第 3 学期	気持ちの切り替え方	2 時間

6 単元（題材）の指導計画と評価計画（全5時間）

	目標	学習内容・学習活動	評価規準（評価方法）		
			ア	イ	ウ
第1時	・表情から気持ちを分類することができる。	・4つの表情絵「うれしい」「悲しい」「怒る」「困る」から表情の特徴、気持ちを表す言葉について考える。 ・いろいろな表情絵を4つの気持ちに分類し、その表情の時の気持ち（言葉）を考え、気持ちポスターを作成する。	① 観察 記述		① 観察 発言
第2時	・色々な場面から自分の気持ちを考え、表情絵と言葉で表すことができる。 ・同じ状況でも気持ちはそれぞれ人によって違うことが分かる。	・提示された場面において、自分がどの表情になるのか、第1時で作成したポスターの中から選ぶ。また、どのような気持ちになるのかを考える。 ・友達はどのような表情になったり、気持ちになったりするのかを比べる。	① 観察 発言	① 観察 発言	① 観察 発言
第3時	・表情で気持ちを表すことができる。 ・相手の表情を見て、気持ちを読み取ることができる。	・表情絵を元に、鏡を見ながら眉毛、目、口を動かして表情の練習をする。タブレットで自分の表情を撮り、気持ちを表すことができるか自分で確認する。 ・表情クイズを行い、相手の表情を読み取るとともに、自分の表情が相手に伝わるかどうか確認する。 ・マスクを着用した状態でもクイズを行い、その時は眉毛や眼に注目することを気付くようにする。	②③ 観察		② 観察 発言
第4時	・身振りで気持ちを表すことができる。 ・相手の身振りをみて、気持ちを読み取ることができる。	・気持ちを表す身振りを確認し、練習する。 ・ジェスチャークイズを行い、相手の身振りから気持ちを読み取るとともに、自分の気持ちをジェスチャーで表すことができる。	②③ 観察	② 発言	② 観察 発言
第5時 本時	・適切な言い方で気持ちを伝えることができる。	・寸劇を見て、どのような言い方にすれば、自分の気持ちが相手に伝わるのか考える。 ・寸劇から考えた適切な言い方でロールプレイを行う。	②③ 観察	② 観察 発言	② 観察 発言

第6時	・表情と身振り、言い方を合わせて気持ちを伝えることができる。	・寸劇を見て、表情と言い方が一致しないと伝わらないことに気付く。 ・3つの場面の時、どのような表情や言い方で伝えればよいのか考えて、ロールプレイを行う。	②③ 観察	② 観察 発言	② 観察 発言
-----	--------------------------------	---	----------	---------------	---------------

7 配置図



8 指導に当たって

○教師による寸劇

- ・場面状況の理解をしやすいよう、児童に考えてほしい場면을教師が寸劇にして示す。児童が登場人物の問題点に気づき、改善方法を考えやすくするために、意図的によくない例を出す。

○スキルを活用するための活動・ロールプレイ

- ・学習したスキルを生かすためのロールプレイや体験的な活動を取り入れる。

○客観的な振り返り

- ・活動やロールプレイの様子を録画し、自分自身を確認することにより、自分がめあてを達成できていたかどうか、客観的に振り返ることができるようにする。

○年間指導計画について

- ・年間指導計画に記した学習だけではなく、1年を通して相談や協力などの単元や友達とのかかわりの中で、状況に合わせた自分の気持ちの伝え方ができるよう指導を進めていく。

9 本時（全6時間中の第5時）

(1) 本時の目標

- ・適切な言い方で気持ちを伝えることができる。



(2) 本時の展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入 5分	・始まりの挨拶をする。 ・本時の活動内容とめあての確認をする。	・本時のめあて及び学習内容の要点を予め板書しておく。	

<p>展開 20分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寸劇を見る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>先生：今言ったとおりにタブレットを使ってやります。</p> <p>A：「えー、分からないよ。どうやったらいいの？」一人でつぶやく。</p> <p>B：「A君大丈夫？ここを押して字を打てばいいんだよ。」</p> <p>A：「そっか！B君ありがとう。」</p> <p>低い声で言う。</p> <p>B：「え、怒ってる？」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の言動や様子を確認する。 ・ Aの気持ちの伝え方のよくなかったところを考える。 ・ Aはどのように伝えればよかったのかを考える。 ・ ロールプレイで練習する。 A：児童 B：T2 ・ ロールプレイの動画を見て、自分の言い方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 劇の場面設定や登場人物の紹介をする。 ・ T3がAの役、T2がBの役を行う。 ・ Aの言動や表情に注目するように伝える。 ・ Bに対してAがどのような表情と言葉、言い方で伝えていたのか確認する。 ・ Aの気持ちを確認し、Bに伝わっていたのか確認する。 ・ ロールプレイの前に、担当の教員とする練習する時間を設け、個別で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> イ - ②寸劇を見て、登場人物の気持ちを考えたり、改善方法を考えたりすることができる。 ア - ②自分の気持ちを伝えるための適切な表情や身振り、言い方を理解している。 ア - ③表情や身振り、言い方で自分の気持ちを伝えることができる。 ウ - ②学んだことをクイズやロールプレイの活動の中で生かそうと
-------------------	--	---	---

			している。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートを記入する。 ・終わりの挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあての達成ができたかを考えさせるための言葉掛けをする。 ・児童の頑張りや良かった部分を褒めて、価値付けをし、実生活でも使っていくように話をする。 	ア - ③表情や身振り、言い方で自分の気持ちを伝えることができる。

(3) 板書計画

C児↓ B児↓ A児↓ ふりかえり Aくん ロール プレイ	Aくん どうやってつたえればよかった？   Bくん Aくん	げきじょう	めあて 自分の気持ちを相手に伝わる言い方で伝えよう	自分の気もちをつたえよう
---	---	-------	------------------------------	--------------

(4) 授業観察の視点

- ・寸劇の内容は、児童が目標を達成するために適切な教材であったか。
- ・動画での振り返りは、自分の伝え方を客観的に振り返り、目標を達成するための手だてとなっていたか。